

新たなる「生徒指導」の在り方を考察する

2022
年度

日本生徒指導学会 関東支部会

第13回研究会

新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン学習をはじめとした、これまでと全く異なる状況下において、全国各地の学校・教員・児童生徒に何が起こっていたのか、どのように対応していたのかなどが、あきらかになってきました。さらに生徒指導提要が12年ぶりに改訂されます。そこで、生徒指導の視点を踏まえて、「不登校・ひきこもり・いじめ・自殺問題の視点から生徒指導提要をいかに読み解くか」について議論し、生徒の自己指導力向上を図る新たなる生徒指導の在り方について、Zoomによる日本生徒指導学会関東支部会第13回研究会をリアルタイムオンラインにて開催いたします。

このオンライン研究会ではこれがわかる！

- ✓ 新型コロナウイルス感染症禍を機会に、児童生徒と教員、保護者が、どのような関係性を今後築いていくべきなのかがわかる。
- ✓ 学校生活の大半を占める学習指導における生徒指導の在り方について、包括的な視座からとらえる必要性がわかる。
- ✓ 改訂生徒指導提要を読み解いて、不登校・いじめ・自殺問題など、新たなる生徒指導体制の再構築の仕方がわかる。

文教大学東京あだちキャンパス から

Zoomによる オンライン開催

2023.

日時

1月21日(土)

13:00~16:00

参加料

無料 (要事前申し込み)

定員

200名程度 (先着順)

当日のプログラム

司会・進行 新井立夫
(日本生徒指導学会関東支部会副代表・事務局長/文教大学教授)

開会の挨拶 会沢信彦
(日本生徒指導学会関東支部会代表/文教大学教授)

基調講演 (13:05~14:05)
テーマ:「改訂生徒指導提要からみるこれからの生徒指導」
宮古紀宏(国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター統括研究官((命)副センター長)

シンポジウム (14:15~16:00)
テーマ:「改訂生徒指導提要をいかに読み解くか」

【話題提供者】
・不登校・いじめ・自殺などの視点から: 相馬誠一(東京家政大学名誉教授)
・教育相談の視点から: 金子恵美子(慶應義塾大学准教授)
・チーム学校の視点から: 山口豊一(聖徳大学教授)
・教育現場の視点から: 服部匡彦(足立区教育委員会指導主事)

【指定討論・総括】
・藤平敦(日本大学教授)

日本生徒指導学会関東支部会 総会 (16:10~16:30)
(日本生徒指導学会関東支部会会員のみの参加)

申込方法

右のQRコードからお申し込み

お申し込み完了後、動画配信アドレス、参加方法をご返信いたします。

【研究会参加申し込みフォーム】

<https://bit.ly/2UkXHdy>

※通信回線の不具合など開催中止が見込まれる場合はホームページにて告知いたしますので、ご確認ください。

こちらからアクセス



お問い合わせ先

E-mail: tatsuo@bunkyo.ac.jp (担当: 新井 立夫) TEL: 080-1624-8916

※事前のご相談などはメールでお願いいたします。